

# 令和6年度 一般会計決算附属資料

## 議会事務局 主要な施策の成果



予算科目	款	01 議会費	本年度決算額 3,250千円	最終予算額 3,502千円	不用額 252千円	執行率	部 議会事務局
	項	01 議会費				92.8 %	
	目	01 議会費				(参考)当初予算額	
	事業	04 議員活動・議会渉外活動事業				8,308千円	
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	諸収入	京都市議会議長会広域振興支援助成金	160千円	
目的	市民の多様なニーズをくみあげながら、議会の政策形成機能及び監視機能の充実を図るため、研修及び調査研究により議員の資質及び能力の向上を図る。			諸収入	京都市町村職員等共同研修助成金	1千円	
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用弁償等 1,712千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本会議等（27回）、委員会等（175回）参集分 790千円</li> <li>・議長会等会議出席費用 922千円</li> </ul> </li> <li>○行政視察（常任委員会） 329千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師等謝金 150千円</li> <li>・費用弁償 98千円</li> <li>・視察先土産、資料代 34千円</li> <li>・燃料費、バス運転委託料 47千円</li> </ul> </li> <li>〈参考〉総務常任委員会 兵庫県豊岡市（人口減少対策） 文教厚生常任委員会 岡山県鏡野町（こども基本条例）他1か所 産業建設常任委員会 京都市（人材確保）</li> <li>○議員研修会 115千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/18「コンプライアンスについて」 55千円</li> <li>・7/26「ファシリテーター研修」 53千円</li> <li>・1/15「議員向けハラスメント研修」 7千円</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○議会報告会（3回）（市民と議会の懇談会：9会場、143人） 147千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用弁償 61千円</li> <li>・会場借上料（丹後地域地場産業振興センター等使用料） 6千円</li> <li>・消耗品費、食糧費 56千円</li> <li>・保育スタッフ謝金 24千円</li> </ul> </li> <li>○参考人等実費弁償（10人） 30千円</li> <li>○議長交際費 90千円</li> <li>○政務活動費交付金 827千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2会派、5議員</li> </ul> </li> </ul>			
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政視察により、先進地事例を調査研究し、常任委員会の政策提言に向けた取組を進めることができた。</li> <li>○市民と議会の懇談会では、多くの市民から様々な意見を聞くことができたが、今後も開催方法や運営方法について更なる検討が必要である。</li> </ul>					

予算科目	款	01 議会費	本年度決算額 12,037千円	最終予算額 12,120千円	不用額 83千円	執行率 99.3 % (参考)当初予算額 14,069千円	部 議会事務局
	項	01 議会費					
	目	01 議会費					
	事業	50 議会一般経費					
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源 諸収入	京都市市町村職員等共同研修助成金 13千円			
目的	本会議及び委員会等の審議の経過を記録するため、会議録を調整し公開するとともに、迅速な情報公開を行うため映像配信を行う。議会に対して、市民の関心が高まるように、「一般質問のお知らせ」を発行し積極的に情報発信する。						
主要な事務・事業の概要	○会議録作成委託料 3,762千円 ・定例会（25部×4回）、臨時会（25部×4回） 1,539千円 ・委員会等（106回、総時間 8,082分） 2,223千円 ○職員旅費等 641千円 ・行政視察随行、旅行取扱手数料 19千円 ・市議会議長会等随行及び会議 571千円 ・研修会（JIAMほか） 51千円 ○一般質問のお知らせ発行 374千円 （15,750枚×2回、15,500枚×2回） ・印刷用紙代 139千円 ・新聞折込手数料 235千円 ○映像配信システム 3,045千円 ・委託料（映像編集、映像配信・保守点検） 2,979千円 ・専用回線使用料 66千円 ○会議録検索システム委託料 1,741千円 ○Zoomライセンス使用料（3ライセンス） 98千円			○文書共有・会議システムソフトウェア使用料 66千円 ○消耗品費等 514千円 ・書籍、事務消耗品、新聞購読料、名刺印刷、修繕料 等 ○負担金 773千円 ・全国市議会議長会 等 669千円 ・議員公務災害補償組合負担金 92千円 ・各種研修負担金 12千円 ○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人） 1,023千円			
	成果・課題	○市民に身近な議会となるようケーブルテレビやインターネットなどによる映像配信や録画配信の視聴環境に継続的に取り組んだ。 ○本会議及び委員会等の会議録の公開、議会ホームページでの情報提供、「一般質問のお知らせ」の新聞折込みなど、積極的な情報発信により市民に開かれた議会となるよう努めた。					